

平成21年を振り返って

市民のみなさま 今年も市政へのご理解とご協力ありがとうございました



今年一年を振り返って

振り返ると、世界的な景気後退による雇用不安、北朝鮮による核実験の強行、そして新型インフルエンザの世界的流行への対応など、2009年は、世界規模の大きな出来事が直接地方まで大きな影響を与えた一年だったと考えております。

また、国内では、鳩山新政権の誕生により、普天間基地の県外移設が大きくクローズアップされ、市民も県民も「辺野古への新基地建設と県内移設に反対する県民大会」を開催して、その公約実現を後押しいたしました。基地問題を巡って二つに割れていた沖縄の世論をひとつに統一できた画期的な年だったと考えております。

米軍基地の県外移設が実現すれば、那覇市の将来を描く上で、たいへん大きな出来事になると思います。そのためにも、新政権には、沖縄の「基地の県内移設反対」の意志をしっかりと汲み取って、早急に普天間基地問題を解決していただくことを期待しております。

完成しつつある那覇市営奥武山野球場(仮称)は、来年4月にはいよいよ竣工式を迎えます。すでに、県内では35年ぶりとなるプロ野球公式戦の開催も決定しており、本市の観光や経済振興の上からも多方面から熱い期待が寄せられています。市役所本庁舎も建て替えのため、現在、仮庁舎へ移転しておりますが、子どもからお年寄りまで、希望あふれる那覇市の実現めざして、来年も市民のみなさまとともに歩んでいきたいと考えております。

那覇市長 翁長雄志

1月

- 5日 ●平成21年新年祝賀名刺交換会
- 6日 ●平成21年那覇市消防出初式
- 100人目標に市が臨時雇用へ
- 景気の悪化で失業者が急激に増加していることから、緊急対策として100人を目標に雇用する方針を決定した。
- 7日 ●ISO9001認証範囲拡大
- 品質の世界標準規格ISO9001について、これまでの市民文化部から市長事務部局全体への認証範囲拡大が認証されたと翁長市長が定例記者会見で報告した。
- 27日 ●第1回子どもフェスタ in なは
- 子どもの居場所づくりと、子どもが自身の存在感を感じ、子ども会などでの活動によって得られる達成感を感じてもらうことを目的に開催された。



恒例の新年祝賀名刺交換会が行われ、1,300人を超える来場者が新春を祝うとともに那覇市の発展を誓った(5日)

2月

- 1日 ●第32回那覇市民バザール
- 8日 ●枚志で不発弾処理。市民600人が避難
- 11日 ●なはさくらまつり2009開幕
- 25日 ●平成20年度福祉のまちづくりフォーラム開催
- 障がい者や介護を要する高齢者、ホームレスなど生活課題を抱える方々の支援に取り組んでいる民生委員児童委員と、医療施設や行政などの関連機関・団体との連携を強化することを目的に開催された。
- 27日 ●国場児童館まつり&雪まつり
- 雪に触れる機会が少ない沖縄の子どものために、雪遊びを楽しんでもらおうと、海上自衛隊第5航空群のみなさんから、国場児童館まつりに合わせて国場地域の子どものために青森の真っ白い雪がプレゼントされた。



各家庭に眠っている不要品を持ち寄り、ごみの減量や資源の有効利用につなげようとして開催された(1日)

3月

- 2日 ●那覇新港に今年初めての大型クルーズ船入港
- 3日 ●市立学校の校歌着うた配信サービススタート
- 市民の愛着の向上、知的財産に関する意識啓発を目的に、安謝、城東など7校の小学校と上山、小禄など6校の中学校の校歌を携帯電話の着うたとして配信するサービスがスタートした。
- 7日 ●N A H A ユースフォーラム開催
- 11日 ●真嘉比の区画整理現場で不発弾46発見つかる
- 15日 ●那覇平和芸術祭「那覇センセーション」公演
- 18日 ●特定健診受診者に抽選で旅行券
- 特定健診の受診率向上を目的に、2008年度の受診者の中から抽選で47人に旅行券が贈られた。



市の芸術監督である平田大ーさんの「感動体験ワークショップ」を受けた市内の子どものみならず見事な舞台を見せた(15日)

4月

- 1日 ●路上喫煙者に罰則の適用が開始
- 国際通りや沖映通りなど、路上喫煙禁止地区で違反者に罰則が科せられる那覇市路上喫煙防止条例が施行された。
- 秋田県と教職員交流事業
- 全国学力テスト1位の秋田県に学ぶと教職員の交流事業が始まり、2人の教員が市内の小中学校に派遣され1年間授業を行う。
- 4日 ●市内の70歳以上の方は半額となるモノレールの1日乗車券の販売が始まる。
- 5日 ●2009波の上ビーチ海開き
- 最終処分場跡地1万本植樹
- 8日 ●市内小学校で入学式
- 16日 ●定額給付金・子育て応援特別手当の申請書を発送
- 25日 ●なは市民大学開校



市長自ら講師となり協働によるまちづくりなどについて受講生と意見交換する「なは市民大学」が開校した(25日)

5月

- 3日 ●第35回那覇ハーリー(～5日)
- 17日 ●琉球ゴールデンキングスbjリーグ日本一に
- 有明コロシアムで行われたbjリーグのファイナルで、琉球ゴールデンキングスが東京アパッチを下し、初優勝を果たしました。
- 20日 ●那覇市制施行88周年記念式典
- 各分野で功績のあった市政功労者11名を表彰したほか、翁長市長が「夢育む球場・奥武山野球場」をテーマに、建設が進んでいる奥武山野球場の活用方法や新しい那覇市のまちづくりなどについて講演を行った。
- 22日 ●収納率90%達成を目指し、翁長市長が電話で国保税納付を呼びかけた
- 29日 ●ごみゼロ呼びかけ運動出発式



5月30日の「ごみゼロの日」にちなみ、「ごみ減量呼びかけ作戦、クリーンアップ作戦」を開催した(29日)

6月

- 1日 ●定額給付金の窓口支給が始まる
- 生活支援と消費拡大を図ることを目的に、1人1万2千円、65歳以上と18歳以下の人には2万円が支給される定額給付金の窓口支給が始まった。
- 9日 ●那覇市議会が県内初となる議会の手話通訳制度を導入
- 19日 ●翁長市長が真嘉比地区遺骨収集事業現場視察
- ホームレスや失業者を対象とした緊急雇用創出事業として検討されている遺骨収集事業の現場を、翁長市長が視察した。
- 28日 ●創作エイサーコンテスト太鼓フェスティバルin なは



県内で活躍する創作エイサー団体13団体が参加。勇壮かつ独創的な演舞を披露し、観客を魅了した(28日)

7月

- 4日 ●第4回やる気・元気フェスティバルin なは
- 市内の中学生が、相互に交流し友情を深めながら「生徒の居場所づくり」を積極的に進めることを目的に、那覇市民会館で開催された。
- 5日 ●那覇市議会議員選挙投票開票
- 8日 ●7月8日は「なはの日」
- 16日 ●「地域若者サポートステーションなは」が開所
- 相談支援や心理カウンセリング、居場所づくり、職場ふれあい事業等、様々な角度から、若者たちを支援する地域若者サポートステーションが開所した。
- 22日 ●46年ぶりの皆既日食。天体ショーに県内沸く
- 27日 ●ゴルフの宮里藍選手が米ツアーで初優勝



7月8日の「なはの日」に、市民意識の高揚及び本市の活性化、イメージアップを図ろうと様々なイベントが行われた(8日)

8月

- 2日 ●2009夏祭りin那覇「万人のエイサー踊り隊」
- 3日 ●那覇市証明書交付事務取扱開始セレモニー
- 市役所本庁が仮庁舎へ移転することに伴い、旧庁舎周辺地域の市民サービスを確保するため、那覇中央郵便局で住民票、印鑑登録証明書などの証明書の交付を受けることができるようになった。
- 平成21年度那覇市観光功労者表彰式
- 10日 ●ゆいレール愛好会モノレール開業6周年記念イベント
- 19日 ●ガープ川で鉄砲水事故が発生
- ガープ川で、大雨の直後に発生した鉄砲水で作業員の男性5人が流され、4人が死亡した。
- 30日 ●第45回衆議院議員選挙投票開票



勇壮なエイサーがメインストリート・国際通りを埋め尽くし、沿道の観衆と一体となり祭りは盛り上がりを見せた(2日)

9月

- 5日 ●テンブス子ども劇団第2回公演
- 12日 ●平成21年度那覇市救急・防災フェア
- 16日 ●2009なはカーフリーデー
- 車を使わずに、公共交通機関や自転車などを使うことで、地球環境や都市交通、そして都市生活との関係などを考え直す機会を提供することを目的に開催された。
- 18日 ●那覇市役所旧庁舎44年の歴史に幕
- 老朽化した本庁舎の建て替え工事に伴い、市役所本庁舎の閉庁式が行なわれ、市長や両副市長を始め、多くの職員や市民が集まり、本庁舎との別れを惜しんだ。
- 19日 ●第17回なは青年祭
- 22日 ●大型旅客船バース完成供用式典
- 24日 ●おもろまちの仮庁舎で業務開始



旧庁舎での全ての業務が終了した後に行われた閉庁式には、旧庁舎との別れを惜しむ多くの市民が駆けつけた(18日)

10月

- 1日 ●「なはし就職なんでも相談センター」及び「サポートステーションなはサテライト」開所式
- 10日 ●第39回那覇まつり(～12日)
- 15日 ●30年ぶりにJ C 全国大会が開催された
- 12日 ●ふれあいジャズフェスティバル2009
- 沖縄戦の記憶を風化させることなく、平和都市・那覇を築き上げた先人たちの感謝と平和を願う、那覇平和芸術祭「ふれあいジャズフェスティバル」が行われた。
- スポーツフェスティバル in なは
- 22日 ●第2期那覇市協働大使委嘱式
- 市との協定などにより、協働によるまちづくりを実践した団体の代表者またはその団体が推薦する方を第2期那覇市協働大使として委嘱した。



日頃の運動不足の解消と自らの体力測定を目的に、多くの市民が参加して那覇市民体育館で開催された(12日)

11月

- 1日 ●首里城祭「琉球王朝絵巻行列」
- 壺屋やちむん通り祭り2009(～3日)
- 300年余りの伝統ある壺屋焼きに親しんでもらおうと、壺屋やちむん通りをメイン会場に賑やかに開催された。
- 3日 ●「琉球王朝祭り首里」古式行列・祝賀パレード
- 7日 ●平成21年度那覇市総合防災訓練
- 8日 ●第26回那覇市障害者運動会
- 辺野古への新基地建設と県内移設に反対する県民大会が開かれた(1面に関連記事)
- 9日 ●防火ポスターコンクール表彰式
- 秋の火災予防運動一環として、児童生徒の防火思想の向上を図ることを目的に、防火ポスターコンクールが実施された。
- 15日 ●2009那覇市環境フェア



古都・首里を舞台に「琉球王朝祭り首里」が開催され、華やかな古式行列が沿道の観衆を魅了した(3日)